

こう ほう 広 報



2025年7月発行

就労継続支援B型事業所



特定非営利活動法人

エンパワメントステーションかむかむ

小樽市蘭島1丁目21番15号

活 動 理 念

私たちは、生きる場である地域において、生きづらさを感じている人びと（以下「当事者」という。）が「できる/できない」という垣根を越えて自分らしく生きることができるように、一人一人のエンパワメントに寄与することを趣旨としています。

人と人の関係のありかた、出会いの持ち方（共に生きること）の事だと私たちは考えます。

代表理事 岡田吉史



「個別具体的を応援！」

今を生きるすべての人々は個別具体性を生きています。

姿かたちはもちろんのこと、考え方、性格、嗜好に至るまで個性を兼ね備えて生きています。

かむかむに集うメンバーさんも同様です。そして彼らにはもう一つ障がいという個性を抱えています。それはあくまで具体的なものです。彼らを伴走・支援するということは、あくまでも彼らの個別具体性と伴走するということだと思えます。言うなれば百人のメンバーがいれば100通りの支援があるということにほかなりません。しかし言うは易しです。

マニュアルや形通りの管理ではそこには行きつけられないでしょう。一人一人のマニュアルを創っていく作業が毎日毎日続いていく、そこには決してゴールはないといってもいいでしょう。ある意味かむかむの日常はゴールなき馬拉ソンランナーのようだと思います。日々変化する個別具体性を理解しながら応援すること、それはメンバーさんの変化＝成長を毎日見届けることであり、スタッフ自身の成長を自覚するでもあると思います。私は、かむかむの日常が常にそのような「場」でありたいと思っています。

そこにある「終わりなき日常」は「つまらない日常って奴」を突破することをエンパワーすることでしょう。

ある意味私たちは、

管理から一番遠い、創造の場にいるといえると思います。

サービス管理責任者 岡田由美子

「できることに着目」

自信がない。

自分にできるだろうか。

失敗したらどうしよう。

これで良いのだろうか。

誰もがみんな持っている不安。

出来ないことをかぞえて、日々努力するよりも、

自分では気が付かなかったけれど

器用だと言われた、センスが良いと言われた

あの仕事は苦手だけど、これなら大丈夫

気が付かなかった自分探し

今、自分の出来ていることにスポットライトを当てて

今の自分を褒められるといいなあー。

かむかむは、メンバーもスタッフも

安心して失敗の出来る場でありたい。

半年を基準とした目標を共有し

寄り添うことも大切だけれど、

今、目の前に居る人の気持ちに耳を傾け

一喜一憂に寄り添うことが大切に思う…今日この頃。



そして「かむかむ」は、頼りになる素敵なメンバー(利用者)の方々に

いつも支えられている「かむかむ」です！



蘭島さんぽ



事業所のある「蘭島」は、小樽の最西端に位置しています（トンネルを抜けたら余市町）。

蘭島は、明治初期は蘭島村と言われていたそうです。語源は、「ランシュマナイ」「ラゴシュマナイ」と言われていて、「(川を) 下り入る所」という意味だそうです。蘭島は、海岸沿いにありますが遠浅の砂浜なのでニシン漁には向かなかったようです。

川（2級河川）も流れています。生活用水としては、必要ではありますが昭和30年代には、豪雨によって、道路や田畑が冠水したことや海拔が低い地域でもあるので、水害は暮らしに大きな被害をもたらします。

自慢話で・・・昭和50年代になりコンビニエンスストアができたころに蘭島店の売り上げが全国最高の売り上げになってこともあります。これは、蘭島海水浴場に多くの人が夏を楽しみに来ていたことがわかります。

今は、小樽市内も含め高齢化が顕著になっています。「高齢者多いよね。」「大変だよね。」などの声に耳を傾けて地域のつながりや人と人の出会い方を大切にしたい。話だけで終わるのではなく、活動として小さな一歩を歩み始めています。「かむかむに相談してみたら？」そんな言葉が、地域に根付くように・・・

本体からの眺め・・・

2階の作業場所から外を眺めると、何が見えるのかな。座って作業しているときに何を思い浮かべているのか。

もしかすると、熱い暑い太陽とニラメッコしているそんな席もあるのかもしれない。北海道らしい季節も楽しみながらメンバーさんは、作業に取り組む日々を過ごしています。



セカンドからの眺め・・・

セカンドからの眺めも格別。山を眺めることができ、青空を眺めることができる。そんな素敵な作業場。作業スペースによっては、さまざまです。空間も広く使っているので集中して作業に取り組むことができていると思っています。



本体の多目的ルームから見える庭には、ライラックの花を眺めることができました。次は、ラベンダーが先かイチゴも頑張ってる成長中。

セカンドでは、野菜作りに挑戦中！

でも、一番成長が早いのは雑草(´；ω；)ウツ...

雑草をとってもとってもきりがいい。おいしいものを食べるためにも戦い続けなければならない。



太陽の光が、ありがたいくらいの窓側の席に新しくブラインドが付きまして。目に優しい角度に調整することもできるので、汗を流しながら取り組んでいた時間も懐かしくなると思います。

かむかむの活動情報



事業所では、**オリジナルのデザイン**を使った**トートバック**や**Tシャツ**、**缶バッジ**の作成など希望に沿ったものを作成しております。

「個」を楽しむ「個」具現化していくそんな楽しみ方はいかがでしょうか。チームTシャツの作成も対応していますので、気になる方はご連絡を

お待ちしております。



新しい作品にも取り組んでみました。小銭入れ、ペンケースなど、身近に使える商品を今後もメンバーさんの力を借りて取り組んでいきたいと思います。



入口と事業所前の看板の色を塗りなおして、リフレッシュしました。何かが新しくなるだけでも「わくわく」が止まらない。メンバーさんの「わくわく」がつまった居場所をスタッフと子ども作っていきます。

春が、待ちきれなかった頃。

事業所の周辺の掃除をメンバーさんと行いました。手をかけることで、芽生えが早くなったように感じました。

小さな取り組みが、大きな変化になっていくことをともに過ごすことで実感しています。



メンバーさんと桜を楽しむ

桜の訪れとともにメンバーさんとスタッフと一緒に桜を見に行ってきました。河川敷に咲いている桜は見ごたえ抜群でした。その後は、場所を移動し桜を眺め、ジンギスカンを食べている人を眺め、久しぶりの青空の中で、海を眺めることができました。散歩を楽しんでいるメンバーさん。遊具を楽しんでいるメンバーさん。それぞれの春🌸それぞれの桜🌸を楽しむことが出来ていたようです。初めて参加するメンバーさんもいて、「すごいな。すごいな。」という声もありました。残念だったのは、風が強かったことかなあ〜。ちょっと、薄着だと寒かったかなあと思った日でした。



メンバーさんと

余市神社例大祭へ



6月9日月曜日！！快晴。久しぶりの快晴になりました。9日～11日までは、余市町にある余市神社のお祭りがあります。スタッフの中でも天気予報を見ながらメンバーさんといつ行こうかと話が出ていましたが、9日は、天気が良すぎだったので、急遽、メンバーさんと外出を決めて行くことにしました。宵宮ではありましたが、地域とのつながりを大切に、伝統文化を感じることができる時間を共有することができました。





熱中症に気をつけて、過ごしましょう

「熱中症は」、高温多湿な環境に長くいることで、徐々に体内の水分や塩分のバランスが崩れ、体温調整機能がうまく働かなくなります。（体内に熱がこもった状態を指します）屋外だけではなく屋内でも何もしていない時でも発症します。

年齢を重ねると感覚機能が低下し、暑さに対する調整機能も低下します。のどの渇きを感じていなくても、こまめに水分補給しましょう。暑さを感じなくても室温や外気温を測定し、エアコンなどを使って温度調整するよう心がけましょう。

熱中症の症状

▷めまい、立ちくらみ、手足のしびれ、筋肉のこむら返り、気分が悪い
▷頭痛、吐き気、嘔吐、倦怠感、虚脱感、いつもと様子が違う



重症の症状

返事がおかしい、意識消失、けいれん →この状況の時は、**病院受診**してください



〒048-2562

小樽市蘭島 1 丁目 21-15

電話：0134-61-6144

FAX：0134-61-7503

メール：camcamstation@gmail.com

facebook:

エンパワメントステーションかむかむ

ホームページ：camcamstation.jp

・通勤日は、月～金です。土日祝日はお休みです。



事務所は、
セカンドにあります

編集後記

人は皆、聖人君子ではないから、特に余裕が無くなると、手っ取り早い方法として正論で収めて満足しようとする。
だけどそれでは、距離は縮まらない。
関係性はそこで止まる。先へは進めない。一緒に心地良い試行錯誤の旅はできない。
あるドラマの台詞を思い出す。「あなたの言っていることは正しい。だけど優しくない」
どうぞ、日々の会話が潤いますように。

岡田由美子



寄付と賛助会員になってくださった方々に心よりお礼申し上げます。

引き続き賛助会員を募集しております。

賛助会員は、年間 3,000 円とさせて頂いております。

